

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	法人理念の一つである「自由な生活の実現」に向け、事業所の思いや抱える課題を、地域の方々と共有し、認知症の方々の理解を得ることが難しい。	入居者の「自由な生活の実現」をするために「鍵を掛けない」「閉じ込めない」「行動を制限しない」を運営推進委員の方々の理解を得る。	2か月に1回開催している運営推進会議で法人の運営方針の説明を継続して行う。 施錠しないことで、無断外出される方の危険を伴うため、協力が必要である事を伝える。 入居者の状況やヒヤリハット事例等の報告を行い、意見交換を行う。 繰り返すヒヤリハット事例の検討方法等のアドバイスをもらい実施してみる等、出された意見からケアや運営に反映できるよう取り組む。	12ヶ月
2	49	年間計画等で、遠方への外出計画を立て運営推進会議等で地域住民や家族等にも外出支援の協力を求める等、関係者と共に充実した外出支援が出来るが良い。	施設内に閉じこもるのではなく、季節や天候をみて戸外へと散歩にお連れする。 また、食事や買物は行事計画の中に取り込むことで、より計画的にお連れできるようする。 早目にお知らせすることで、周知され家族の方等に協力していただきやすい環境をつくる。	気候や天気の良い日には散歩に出掛ける。 季節の外出行事を企画したり、外食や地域の祭りやサロンへの外出の支援を行う。 家族に対し行事の参加を継続して呼びかけ、家族の要望を積極的に聞き取り、一緒に楽しんで頂けるような外出行事を企画し実行する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。